

認知症の相談ができる専門の診療所

※市内の診療所などにアンケートを行い、相談可能と回答いただいた医療機関を載せています。

※完全予約制の診療所もあります。初めて受診する際は事前に連絡してから受診しましょう。

	医療機関	住所	電話番号
①	小池診療所	新千里東町1-4-1 阪急千里中央ビル2F	6831-2953
②	藤田クリニック	新千里南町3-1-14 ナカニシビル3F	6836-0588
①	すみだクリニック	緑丘3-11-6	6843-1117
①	都井メンタルクリニック	本町1-2-53 高山第3ビル8F	6857-0100
②	やすだクリニック	本町2-4-28	6846-2222
③	和クリニック	少路1-7-16 メディカルゲートビル3F	6844-7531
④	はしクリニック	少路2-3-22 JMLクリニックビル豊中2F	6842-3230
⑤	えいらく診療所	春日町2-4-10 えいらくビル203	6855-5856
①	豊中脳神経外科クリニック	岡上の町4-3-17	6843-9911
①	野村レディース心療クリニック	東寺内町13-10 コーポ上原2F	6385-9202
②	緑地公園メディカルクリニック	寺内2-3-15 リアライズ緑地北 206号室	6155-8167
①	西側こころクリニック	庄内東町2-1-23 誠宏ビル2F	6842-9210
②	もといえ脳神経クリニック	庄内西町2-22-3	6676-7358

認知症の検査・治療を行う専門病院			
	医療機関	住所／電話番号	受診する外来
A	市立豊中病院	柴原町4-14-1 ☎ 6843-0101	もの忘れ外来：火・水・木曜日（要予約及び紹介状） <予約先>地域医療連携室（医療機関からのみ） TEL: 6858-3597
B	大阪刀根山医療センター	刀根山5-1-1 ☎ 6853-2001	脳神経内科もの忘れ外来 ：木曜日（要予約及び紹介状） <予約先>地域ネットワークセンター (医療機関からのみ)
C	さわ病院 認知症疾患医療センター	城山町1-9-1 ☎ 0120-004142 (フリーダイヤル)	診察及び検査：要予約 まずはお電話にてご相談下さい。 相談受付時間：水・日・祝日を除く 9時から 17時
「認知症疾患医療センター（大阪府指定）」とは… 保健医療、介護機関などと連携を図りながら、認知症患者の専門医療相談、鑑別診断・治療方針の選定を行います。 《専門医療相談もしています》 精神保健福祉士が認知症に関する電話・面談相談に応じています。 相談受付時間は上記の通りですが、緊急を要する場合は、毎日24時間電話相談に応じています。			
D	小曾根病院	豊南町東2-6-4 ☎ 6332-0135	精神科外来：月～土（要予約）9時から 11時半 <予約先> 医療福祉相談室

認知症の相談ができる診療所・など

専門の診療所

認知症の検査・治療を行う病院

こんな症状が出現したら 認知症を疑って病院受診しましょう！



※ほんの一例です。いつもと様子が違うな、と感じたら早めに地域包括支援センターやかかりつけ医、認知症疾患医療センターなどに相談しましょう。

アルツハイマー型認知症の例 80歳女性



鍵や財布、メガネなどをどこに置いたか探すことが増えた。また頻繁に「今日は何日?何曜日?」と確認するようになった。賞味期限切れの豆腐がいくつも冷蔵庫に入っている、「使う予定だったが、たまたま使わなかった。」という。娘と外出する約束を忘れ、娘から説明されても思い出さないなど物忘れが徐々にひどくなっていた。娘が地域包括支援センターへ相談したところ、認知症専門病院受診を勧められた。検査の結果、アルツハイマー型認知症と診断された。

レビー小体型認知症の例 72歳男性

歩く歩幅が狭くなり、小刻みに歩くようになった。また、睡眠中に大きな声で寝言を言うようになった。昼間にぼんやりとしており何度も同じ事を聞く日があるかとおもったら、しっかりしている日もある。布団の毛玉を見て「虫がたくさんついている。」と言ったり、実際にはいないはずの犬が走り回っていると言うようになった為、脳外科を受診。頭部CTでは特に異常は見つかず、認知症専門病院受診を勧められた。検査の結果、レビー小体型認知症と診断された。

脳血管性認知症(多発性ラクナ梗塞)の例 70歳男性



数年前から高血圧で、かかりつけ医より投薬を受けていた。いつ頃からかはわからないが、歩行が小刻み、すり足で不安定になっていた。また、趣味であったカラオケにもあまり行かず、自宅でぼんやり過ごすことが多くなった。薬の飲み忘れや間違えが多くなり、家族がかかりつけ医へ相談したところ認知症専門病院を紹介され、検査の結果、脳血管性認知症と診断された。

前頭側頭型認知症の例 67歳女性



元々穏やかな性格であったが些細なことでいらだつようになり、順番待ちができずに列に割り込むことがあった。徐々に、毎日同じスーパーへ出かけるようになり止めると怒る。また朝食はあんぱん以外の物を出すと怒る。洋服など身なりに关心を示さなくなり、入浴を嫌がるようになった。ある日、毎日行くスーパーで万引きをして保護された。地域の民生委員から地域包括支援センターへ相談し、認知症専門病院で検査の結果、前頭側頭型認知症と診断された。